

< 消化器内科からのお知らせ >

甲南病院と六甲アイランド甲南病院では、夜間休日のオンコール体制で緊急内視鏡が必要な消化管出血にも積極的に取り組んでいます。

お問い合わせ先 偶数日▶甲南病院／TEL:078-851-2161(代)

奇数日▶六甲アイランド甲南病院／TEL:078-858-1111(代)

※二次救急当番日や年末年始などは、担当病院が変更となっていることがあります、必ずどちらかの病院が担当しております。

< 中央放射線部からのお知らせ >

甲南病院、六甲アイランド甲南病院の各放射線部では、画像診断にも迅速に対応しております。CT・MRI・DEXA検査等の必要な患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

お問い合わせ先 甲南病院患者サポートセンター／TEL:078-851-0122 FAX:078-854-4158

六甲アイランド甲南病院患者サポートセンター／TEL:078-858-2322 FAX:078-858-2318

新年度も工事は順調にすすんでいます！

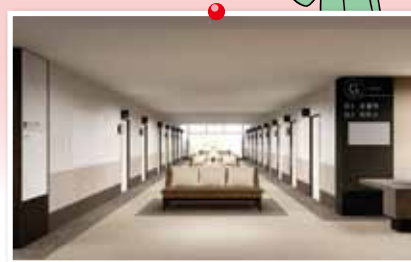
今回は工事写真に加え、新病院の内装イメージ図も掲載しております。



①南館B1階コンクリート打設



②総合待合(イメージ)



③外来(イメージ)



新甲南病院 2022年竣工

『新甲南病院建設事業』への募金をお願いいたします

昭和9年開院より80有余年が経過し、甲南病院は今新しく生まれ変わろうとしております。高度な医療を皆様に提供するという使命感のもと、機能的で安全かつ快適性を重視する病院を目指してまいります。つきましては病院建設事業募金へのご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

《お問い合わせ先》事務局総務部 078-854-4072



甲南病院

〒658-0064 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16
TEL:078-851-2161(病院代表)
TEL:078-854-4370(地域医療連携室/患者サポートセンター)



六甲アイランド甲南病院

〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中2-11
TEL:078-858-1111(病院代表)
TEL:078-858-2322(地域医療連携室/患者サポートセンター)



一般財団法人 甲南会 甲南病院 六甲アイランド甲南病院

『地域の皆様と心を通わす』

甲南通信



2018
新年号

No. 05

〔特集〕

どう防ぐ筋力低下

ー病院と在宅をつなぐリハビリテーションー



〔特集〕

家族で防ごう！インフルエンザに負けないカラダへーウイルス感染症の予防と対策ー

〔Information〕

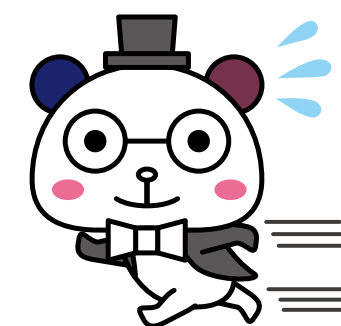
◎看護専門職が重層・深化しています！

ー甲南・六甲アイランド認定看護師活動紹介ー

◎「フレイルネット六アイ」チームが地域の

健康長寿を支えますーフレイル予防で♡イキイキ長寿ー

◎登録医制度・開放病床を設置しました！



どう防ぐ筋力低下 —運動機能を維持する—



整形外科領域において要介護に至る原因疾患として、高齢による衰弱、転倒・骨折、関節疾患が挙げられ、高齢による衰弱の主体が加齢性筋肉減弱現象(サルコペニア)であると考えられています。日本整形外科学会においても、運動器の重要性がうたわれており、ロコモティブシンドローム(ロコモ)という概念が2007年に提唱されました。これは、運動器の障害によって、「立つ」「歩く」といった移動機能の低下をきたした状態と定義され、要介護予防の面から運動器障害を包括した概念です。ロコモ原因疾患としては、変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症、サルコペニアが挙げられます。日本人の平均寿命が伸び、90～100歳まで自分の力で歩き続けるということが重要な課題となった現在、運動器機能を維持するためには日頃からの運動習慣が重要となります。



運動機能は筋力・バランス・柔軟性などに代表されます。運動機能の低下は、主に加齢が原因となりますが、それ以外に運動習慣の欠如、栄養の過剰摂取や低栄養、活動性の少ない生活によっても運動器疾患は増悪し、運動機能低下につながります。したがって、運動習慣と栄養改善は、ロコモの予防と改善のための中心的な対策です。2009年に日本整形外科学会はロコモ予防のための中心的な運動として、転倒防止のための下肢筋力とバランス能力を向上させるためのロコモーショントレーニング(ロコトレ)、すなわちスクワット、開眼片脚立ちを推奨し、さらに2013年よりヒールレイズ、フロントランジをプラスすることを推奨しています。スクワットは大殿筋、中殿筋、大腿四頭筋、ハムストリングスといった股関節から大腿の筋力強化、片脚立ちはバランスを強化して、転倒予防になり、ヒールレイズは下腿三頭筋の強化、フロントランジはやや強度の高い下肢筋力とバランスを強化する運動です。

また高齢者に発症した脊椎椎体骨折や大腿骨近位部骨折は、ADL、QOLの低下をきたし、骨折前の状態に改善することは難しく、また生命予後を引き下げることも広く知られています。これらの病態は骨粗鬆症が基盤としてあるため、骨折予防の重要性が高まっています。当科でもレントゲンによる脊椎既存骨折の有無、DEXA法による骨密度検査、血液検査で骨代謝マーカーや他の生活習慣病の検査を行い、骨折リスクの評価を行った上で、骨強度、骨質を改善させるための適切な治療を行い、骨折予防に積極的に介入しています。

これらにより、ロコモティブシンドロームや骨粗鬆症による骨折を予防し、健康寿命の延伸につながると考えます。



リハビリテーション部の 現状と今後の展望について



甲南病院

現在、甲南病院リハビリテーション部では主に整形外科、神経内科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科の疾患を対象に急性期・回復期のリハビリテーションを行っています。新甲南病院がオープンすると急性期のリハビリテーションが中心となります。そのため新たに循環器疾患、がん疾患にも対応できるよう「心臓リハビリ」「がんのリハビリ」を行う準備を進めています。今後は急性期から在宅療養までシームレスにリハビリテーションが提供できるように甲南病院グループ全体で体制を整え、東灘・阪神地域の患者さまが安心してリハビリを受けられるようなシステムの構築を目指していきます。



▲甲南病院 リハビリスタッフ一同



整形外科医師とのカンファレンス

六甲アイランド甲南病院

現在、六甲アイランド甲南病院リハビリテーション部は理学療法士10名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、助手1名の18名体制で日々リハビリテーション診療に携わっております。1ヶ月の延患者様は月約4000人以上おられ、約4割が廃用症候群、3割が骨・関節疾患、2割が脳血管疾患、1割が心臓疾患および慢性呼吸器疾患を患った方々などの患者様に対し、急性期リハビリテーションを行っています。特に多い廃用症候群や骨・関節疾患の患者様においては大半がご高齢の方々であり、全身のさまざまな骨関節疾患をもつ方々が処方されます。特に転倒を受傷機転として最も多いのは、大腿骨頸部骨折や腰椎圧迫骨折といったものです。大腿骨頸部骨折であれば、整形外科医師により骨接合術や人工骨頭置換術が施行され、腰椎圧迫骨折では硬性コルセットを装着し、脱臼や骨折の悪化を防ぐべく動作指導を行い、理学療法士は移動動作の実用性獲得を、作業療法士は衣服の着脱動作や排泄動作の獲得などの日常生活活動獲得を目標として、治療・訓練を行っています。また患者様がご高齢であれば骨・関節疾患のみならず、脳血管疾患や高血圧、心臓疾患などの持病をお持ちの患者様についても、リハスタッフは十分対応できる体制と知識・技術の研鑽に励んでおります。ご高齢の患者様であれば、退院後も転倒による再骨折が決してまれではなく、住環境の整備や歩行補助具の使用による安全性の獲得は非常に重要であり、医師・看護師との情報交換のみならず、ご家族やケアマネージャーへの情報提供や環境調整が必須となります。

当院は現在の急性期医療から2020年には「回復期リハビリテーション」を中心とした体制への変換を計画しております。現在の急性期医療の経験を活かし、更にスタッフを充実させ、退院後の生活がより安全で快適なものとなるよう、患者様の最大限の能力回復を獲得することを目指し、在宅生活へとつなげていく体制を構築していきます。



▲六甲アイランド甲南病院 リハビリスタッフ一同

冬に流行するウイルス感染症

12月から寒くなり、風邪が流行っています。

インフルエンザとRSウイルスは毎年冬になると流行するウイルス感染症として代表的なものです。小児ではどちらの疾患も合併症を起こすことが多く、注意が必要です。



インフルエンザ

毎年12月になると流行が始まり、翌年の1～3月に患者数が増加していきます。だいたい4月中くらいに終息しますが、南半球では7～8月頃が流行のピークとなり、海外旅行などで持ち込まれることも多くなっています。

インフルエンザにはA型、B型、C型がありますが、日本ではA型の流行の後でB型が流行することが多いようです。インフルエンザウイルスの表面にはHAとNAという糖蛋白があり、HAが15種類、NAが9種類あり、その組み合わせで型が決まります。H1N1とかH3N2などと呼ばれる型がその代表です。



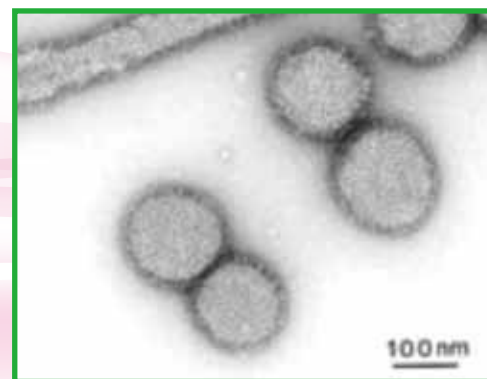
六甲アイランド甲南病院
患者サポートセンター長
太田 國隆 副院長

日本小児科学会専門医・指導医
日本アレルギー学会専門医
神戸大学医学部臨床教授
地域総合小児医療認定医
神戸市小児科医会副会長

インフルエンザは時々大流行し(パンデミック)そのたびに多くの人が亡くなっています。1918年のスペイン風邪、1957年のアジアかぜ、1968年の香港型、1977年のソ連かぜなどです。最近ではトリとブタが関与した新型インフルエンザの騒ぎが記憶に新しいところです。

症状は、発熱(高熱)や頭痛・関節痛・筋肉痛、全身倦怠感などが突然はじまり、咳、鼻汁などのかぜ症状が進行します。小児では中耳炎や肺炎、細菌感染症

図：インフルエンザウイルスの電子顕微鏡像
(国立感染症研究所のホームページから)



の合併などにも注意が必要です。急性脳症はいきなり痙攣したり、意識がおかしくなったりすることもあり、進行が早いので、できるだけ早く集中治療を始めることが大事になります。

インフルエンザは飛沫感染、接触感染が主なので、ほかのウイルス疾患と同様に手洗いが重要です。外出後には必ず手洗いをしましょう。流行期には人混みを避ける、電車の中ではマスクを着用するなど、予防のためにできることはたくさんありますが、流行前のワクチン接種が重症化を予防する効果が証明されているので、早めの接種をお勧めします。



▲ 六甲アイランド甲南病院 小児科医師 一同

RSウイルス

Respiratory syncytial virus(RSV)はParamyxovirus科Pneumovirus属に分類されるエンベロープを持つRNAウイルスで、下気道に炎症をおこします。大人が罹ると咳、鼻水などの上気道炎症状で軽く済むのですが、小児では、細気管支炎や肺炎の原因となることも多く、注意が必要です。発熱、鼻汁、咳などの症状が始まり、喘鳴、陥没呼吸、多呼吸などの呼吸困難になっていきます。この時点で入院となる児も少なくありません。呼吸困難が強くなれば、酸素投与も必要になります。また、乳幼児では症状が強くなくても、突然死につながる無呼吸が起きやすいことが報告されています。

近畿では9月頃から流行がはじまり12月～1月にピークになるのが例年の傾向ですが、ここ数年間は夏にも流行がみられ、入院する患儿が途切れる事はありません。治療も特効薬はなくて、酸素投与、輸液、呼吸管理などの支持療法が中心となります。鼻汁が多いので、鼻腔吸引も一定の効果はあります。予防のためのワクチンも今のところはありません。RSVの表面蛋白に対するモノクローナル抗体製剤であるパリビズマブが早産児、慢性肺疾患を有する小児、先天性心疾患や免疫不全、ダウン症などの児に限り、予防投与することで重症化を防ぐ効果があります。

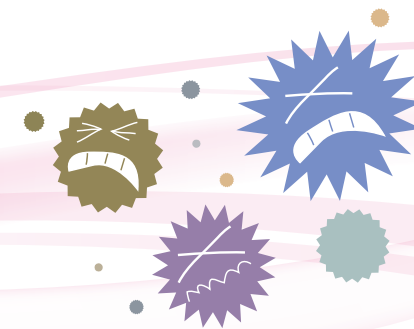
感染経路は飛沫感染と接触感染で濃厚に接触する家族内感染や、保育園などの集団生活で感染が広がります。感染を防ぐためには厳重な手洗いしかありません。

六甲アイランド甲南病院小児科では、RSウイルスやインフルエンザなどの感染症のほかにも、こどものことはほとんどすべての診療を行なっています。アレルギー外来ではアトピー性皮膚炎や気管支喘息の診断、治療、食物アレルギーの診断・指導、食物負荷試験、エピペンの処方など、神経外来ではてんかんの他に発達の問題について相談、診断、知能検査、グループ療育などを行なっています。その他の病気についてもお気軽にご相談ください。

また、救急外来は平日6時まで、休日は12時までを受付時間として、時間外の急病の診療をしています。毎週月曜日は、神戸市の小児二次救急輪番日としての受け入れも行っており、3月は、火曜日の受け入れも増やす予定です。開業の先生方からの入院依頼にも対応していますので、当番小児科医にご連絡ください。

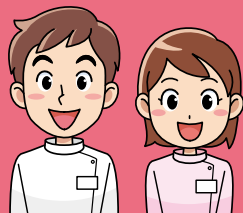


小児科カンファレンス



専門分野で 看護師が活躍しています！

看護支援センターのご紹介



看護支援センターは、日本看護協会の認定審査に合格した認定看護師9分野14名と専門看護師1名が配置された部門です。それぞれの専門分野を活かし、看護外来や多職種とのチーム活動を通じ、専門性の高い看護の技術・知識を提供しています。病院内だけではなく、地域へも活動を広げています。私たちの活動の一部ですが、ご紹介させていただきます。

看護支援センター センター長 鈴木愛美

甲南病院

がん看護外来

2017年10月から「がん看護外来」をはじめました。がん患者さんの療養上の相談や指導を行い、生活の質の向上を目指し長期的なサポートを目的としています。対象は、**がん**と診断され当院で治療を受けている方になります。相談内容により、乳がん分野(乳がん看護認定看護師:瓜生)、がん化学療法分野(がん化学療法看護認定看護師:板井)、緩和ケア分野(緩和ケア認定看護師:江川)にわかれて対応します。患者サポートセンターで予約を受け付けています。

乳がん看護認定看護師 瓜生悦子



左から 瓜生悦子、永井美裕貴、板井真希、江川亜希、鈴木愛美センター長、松本悠子

看護支援センタースタッフ

専門分野	甲南病院
皮膚・排泄ケア認定看護師	鈴木愛美
感染管理認定看護師	松本悠子
透析看護認定看護師	永井美裕貴
緩和ケア認定看護師	江川亜希
乳がん看護認定看護師	瓜生悦子
がん化学療法認定看護師	板井真希

甲南病院 看護外来(午後診予約制)

	月	火	水	木	金
ストーマ外来				第2・3週	第2・4週
フットケア外来			第2・4週	第1・4週	
がん看護外来		乳がん看護 がん化学療法看護	乳がん看護 がん化学療法看護	緩和ケア	
糖尿病療養指導 糖尿病透析予防指導	第2・4週	第3週	毎 週	第4週	



上段: 左から 米村朋代、吉川憲一郎、別府恵子、窪田順江、松尾知子
下段: 左から 花岡麻希、岡本雅代、田村浩恵、平良貴子

看護支援センタースタッフ

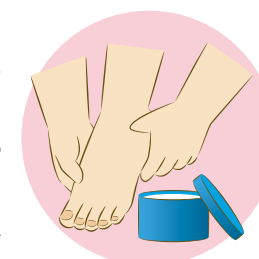
専門分野	六甲アイランド 甲南病院	甲南訪問介護 ステーション
皮膚・排泄ケア認定看護師	松尾知子	
感染管理認定看護師	窪田順江、花岡麻希	
認知症看護認定看護師	田村浩恵	別府恵子
透析看護認定看護師	岡本雅代	
集中ケア認定看護師	平良貴子	
慢性心不全看護認定看護師	吉川憲一郎	
慢性疾患看護専門看護師	米村朋代	

六甲アイランド甲南病院

フットケア外来

当院のフットケア外来は、「下腿潰瘍・糖尿病性足病変を抱える患者さんの支援」を目的に2006年に開設しました。外来では、フットアセスメント・フットケア(爪切り・胼胝処置)、セルフケア指導などを行い、ケアを通じて患者さん自身が下肢へ関心を持ち、セルフケアが継続出来るようにサポートを行っています。透析看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師、糖尿病療養指導士が担当しています。

皮膚・排泄ケア認定看護師 松尾知子



六甲アイランド甲南病院 看護外来

	月	火	水	木	金
ストーマ外来	第2・4週 AM			第2・4週 PM	
フットケア外来	第1・3週				
糖尿病療養指導	毎 週	毎 週	毎 週	毎 週	毎 週
糖尿病透析予防指導			第1・3・5週		第2・4週
慢性腎臓病看護専門外来	第2・4週				第2・4週

看護支援センターの活動

『えがお交流会』のお知らせ

在宅の現場で働かれている方々と顔の見える関係を築き、在宅療養を支える看護の連携を強化する第一歩として、『えがお交流会』を開催しています。専門看護師・認定看護師の私達にできることを皆様と考え、今後の「看看連携」につなげていきたいと考えています。

第2回 えがお交流会

- 日時:平成30年3月10日(土)14:00~16:30
- 対象:看護師 ■会場:甲南病院 AB会議室
- プログラム:①がんの疼痛アセスメントについて
②在宅における抗癌剤の曝露対策について
③がん看護外来の紹介 ④交流会

認定看護師の同行訪問

在宅医療へ移行する患者様が増えている中、安心して自宅で療養できることを目的に、認定看護師の同行訪問を開始しました。訪問させていただく看護師は、皮膚・排泄ケア認定看護師、緩和ケア認定看護師、乳がん看護認定看護師、がん化学療法認定看護師が地域の訪問看護師の方々と一緒に訪問し、専門的な看護ケアを直接自宅で提供いたします。

必要書類は、こちらのアドレス(ホームページ)にてご確認ください。

甲南病院

<http://www.kohnan.or.jp/kohnan/cooperation/>



六甲アイランド甲南病院

<http://www.kohnan.or.jp/rokko/cooperation/>



▶認定看護師の同行訪問とえがお交流会についてのお問い合わせ先

- お問い合わせ先:甲南病院 地域医療連携室/患者サポートセンター
- TEL:078-854-4370 ●FAX:078-854-4099 ●看護支援センターアカウント:kango-shien@kohnan.or.jp

地域の健康長寿を支えます



シンボルマーク▶

六甲アイランドにおけるフレイル啓発活動

加齢による筋力低下は体のあちこちに現れてきます。筋力低下がもたらすロコモティブシンドロームとともに、「フレイル」も知られつつあります。フレイルとは高齢者の心身の能力が弱ってくる(虚弱)ことで、ロコモティブシンドロームやサルコペニア(加齢による筋肉量減少)のような身体的フレイル、うつや認知機能の低下のような心理的・認知的フレイル、閉じこもりや孤食のような社会的フレイルがあります。

2015年から六甲アイランドでは甲南会の看護職が発起人となり、「フレイルネット六アイ」を立ち上げました。活動の目的は地区住民のフレイル予防・フレイル啓発活動です。六甲アイランドで働く看護職と神戸女子大学が連携し、これまでに、年1回のフレイル予防イベント(フレイル予防で♡イキイキ長寿)、フレイル予防リーフレットの作成・配布、「フレイルネット六アイ」シンボルマークの作成をしてきました。

甲南会はこの地区の医療福祉を支えるため、六甲アイランド甲南病院、甲南介護老人保健施設ならびに甲南訪問看護ステーションの3施設を運営しています。そこで、この強みを活かして地域住民の予防活動にも貢献しています。今年はフレイル予防イベント「フレイル予防で♡イキイキ長寿」も2回目となり、フレイルネット六アイメンバーが地域ケア会議にも参加しフレイル予防を説明するなど、看護職だけでなく地域住民の方々と連携できるようになってきています。

2025年を迎えるにあたり、フレイル予防が健康寿命の延伸にもつながるようこれからも、地域住民の方々の健康を支えていきたいと考えています。



フレイル予防イベント「フレイル予防で♡イキイキ長寿2017」

2017年7月
地域ケア会議
フレイルの
説明



リーフレットで
フレイル
チェック!

フレイルネット六アイ 看護職の参加施設

六甲アイランド甲南病院	甲南介護老人保健施設	甲南 訪問看護ステーション	六甲アイランド あんしんすこやか センター	松井クリニック
さかた内科クリニック	神戸女子大学	特別養護老人ホーム 協同の苑六甲アイランド にじの家	特別養護老人ホーム 協同の苑 六甲アイランド	協同の苑 六甲アイランド グループホーム

こうなん
ニュース
①

地域医療機関との連携強化を行うため 開放病床を設置いたしました!!



三上内科クリニック・三上修司院長との共同診療中

甲南病院、六甲アイランド甲南病院では、平成30年1月より地域の医療機関の先生方と共に診療を行えるように一部の病室を開放いたしました。また、設置に伴い登録医制度も発足いたしました。是非、登録医の申請をお願い致します。

登録医への
申請について
お問い合わせ先

法人本部 医療本部
地域医療連携推進部
TEL:078-854-4017
FAX:078-854-4142



無料送迎バスに新しい仲間が増えました!

こうなん
ニュース
②

11月より、新しい無料送迎バスを導入しました。皆様に一目で甲南病院行きのバスと分かって頂ける様にと、かわいいパンダのイラストと明るいカラーで仕上げています。甲南病院へお越しの際はぜひご利用下さい!



ほくが
目印です!



循環バス(北ルート)所要時間
● コーポミ二住吉台⇒甲南病院 約15分
● 渦森台4丁目⇒甲南病院 約8分
● 渦森公園前⇒甲南病院 約5分



シャトルバス(北周り)の時刻表【PDF】▲

循環バス(南ルート)所要時間
● 阪急御影駅⇒甲南病院 約5分
● 阪神御影駅⇒甲南病院 約18分
● JR住吉駅⇒甲南病院 約15分



シャトルバス(南周り)の時刻表【PDF】▲

情報で織りなす
健康社会の未来。

FUJITSU



地域包括ケアの推進、より高度な医療の提供、予防医療の発展へ。
富士通の情報基盤が健康長寿社会の実現に貢献します。

地域医療ネットワークの拡大によって医療機関と薬局、介護施設などがつながり、地域包括ケアシステムの確立や遠隔医療が可能になりました。
また、健診施設や個人健康情報(PHR)、研究機関との連携により、治療やケアだけでなく予防医療も始まろうとしています。
さらにAIを活用した先端医療の実現も遠い未来のことではないでしょう。富士通はこうした新時代の医療を支える情報基盤をICTの総合力で構築。
集まってくるデータから価値あるデータを生み出すことで、これからも健康社会づくりに貢献していきます。

HumanBridge

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

製品・サービスについてのお問い合わせは 富士通コンタクトライン 0120-933-200
(受付時間 9:00~17:30 土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)
<http://jp.fujitsu.com/solutions/medical/products/humanbridge/>

Be your partner! ~かもめ薬局は、あなたの『健康パートナー』です~

平成30年2月1日 六甲アイランド甲南病院隣接 シティモール内に
かもめ薬局六甲アイランド店オープン!! (六甲ライナー アイランドセンター駅下車すぐ)



全ての病院・クリニックの保険調剤・在宅医療のことならお任せ下さい!
甲南店・御影健康館・六甲アイランド店 他14店舗 <http://www.triad-w.co.jp>



想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

竹中工務店

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 7-1-8
TEL : 078-265-3314

Konan SC “甲南”と共に

保険代理事業 文化事業 環境事業
・事業活動の保険 ・カルチャー教室(20講座) (警備・清掃・用度)
・賠償責任保険 ・地域連携事業 海外事業
・各種損害保険 ・看護英語事業 (留学・研修)
業請事業 (派遣・事務請・図書館業務)の各種事業

(株)甲南学園サービスセンター

〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町2-29-15 (平生記念館内)
お問合せ TEL:078-854-1605/FAX:078-854-0027
H P <http://www.konan-isc.co.jp>

やすらぎの環境を
優しくサポート。

寝具リース/マットレスリース
白衣リース/カーテンリース
オペリネンリース/入院セットリース
各種販売/各種院内業務請負



小山株式会社
医療福祉事業部
〒630-8131 奈良市大森町 47 番地の3
TEL 0742-22-4321
FAX 0742-22-4340
www.koyama-kk.co.jp